



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第521号

2021年9月20日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 阿蘇・米本の小学校存続を求める請願書を提出

市教育委員会は、義務教育学校の開校を決定した昨年6月27日以降、地域住民と保護者が求めても対面式の丁寧な説明会を一切行なっていません。教育委員会はホームページや設立準備委員会だよりで知らせていると繰り返すだけです。

地域・保護者は、子どもたちが安全に通い、学べる「新しい学校」になるのか説明会で明確にしたいのです。

そこで9月市議会開会日の8月30日、「米本団地内に小学校を残すことを求める請願書」が13名の方から議会に提出されました。また「義務教育学校の設置の見直しと阿蘇小学校の存続を求める請願書」が阿蘇・米本の地域と学校を考える会からも提出されました。



## 日本共産党以外は「請願書」に黙って反対

請願書は、9月10日の文教経済常任委員会で議論されました。請願の要旨は①「小学校が団地内にあれば通学路の心配がいらなくなるのになぜ阿蘇中まで通わなければならないのか。②義務教育学校の設備の一部を小学生の体に合わせて改修したものの、「設備の面で子どもはもとより、保護者・地域住民が夢を描けるようなものではない。」(担当者がアピールできる場所はないと言っている。)③文科省の「学校の適正規模・適正配置」手引きには「地域の方々への十分な説明と理解協力を得ることが不可欠である。」と。

専門家も「一時的に保護者である者の意思のみではなく、地域社会における様々な立場の住民の意見に基づいて決定されるべきである」と指摘しています。

しかし反対した市議会議員は、この要旨に対する一言の反論もなく、採決で「反対」の挙手をしただけです。これでは議論して物事を決めるといった議会民主主義を否定する態度です。

## 住民の声に押されて説明会開催を決める

日本共産党は議会でも再三再四説明会の開催を求めてきました。

9月6日、定例議会の代表質問で教育委員会は説明会について「現在検討中で、具体的な日程が決定次第、保護者や地域の皆様にお伝えしようと考えている」と答弁。その直後の10日に「設立準備委員会だより」で児童生徒を通じて保護者に具体的な日程が伝えられました。

### 説明会の日程

10月29日(金) 18時～ 阿蘇中学校体育館

10月30日(土) 10時～ 米本小学校体育館